

# ニ中スピリッツ

【学校教育目標】  
「つくる（創造） みがく（実践）」

帯広市立帯広第二中学校

## 文化祭～頑張った量は感動の量になる

閉会式挨拶より～校長 ※一部抜粋

始めに地域、保護者の皆様、本校の文化祭を最後までご観覧いただき、誠にありがとうございました。

文化祭の準備、運営を支えた生徒会、クラス、吹奏楽部、文芸部、PTAの皆さんに改めて深く感謝申し上げます。

さて、二日間の生徒たちの誠意とおもてなし、心の豊かさ一杯の発表そして、演技はいかがでしたでしょうか。

昨日は、各学級によるショータイムは独創的なパフォーマンスで会場を沸かせ、オープニングを見事に飾ってくれました。

本日の第一幕は、吹奏楽部の演奏でスタートしました。吹奏楽部の演奏は、吹奏楽コンクール、他、地域貢献とする数々のイベントに参加するなど、その経験を活かし、文化祭では素晴らしい、聞き応えのある合奏を披露してくれました。10／23の定期演奏会も楽しみにしています。

続く、私の主張では、自然災害への思い、生命の尊さ、仲間の大切さをテーマに、自らの実際の経験を冷静に分析し、心を動かす話し方で、素直に感じたことや思い、考えを堂々と発表していました。誰もが共感できる発表に、聞いている会場の全員が真剣に耳を傾け、その内容のすばらしさに感動をしました。

学年企画アピール、学年企画・展示作品展では、各学年・学級が独自のノウハウを生かし、発想豊かで創造的なものでした。作品を見る生徒も、作成した人の思いや努力の成果と苦労をしっかりと受けとめっていました。

第二幕の合唱コンクールでは、各クラスともに一人一人の真剣な思いが肌に伝わる合唱でした。音楽を通してしっかりと一人一人の想いを奏で、自分の学級を立派に表現してくれた歌声は、体育館いっぱいに広がり、聴いている人の心を揺さぶりました。

学校重点目標である「二中が大好き！ 所属感・存在感・一体感・達成感」を強く感じてくれたとともにその頑張った量は、必ず感動の量となると信じています。そして、文化祭でのPTAバザーは、新たなメニューが加わるなど、例年よりもご苦労をおかけしましたが、おかげさまで大盛況でした。献身的にご尽力賜り、文化祭を側面から力強く支えていただいたことに感謝を申し上げます。

結びになりますが、「いつさいがっさい、一つのことにみんな色を」の文化祭は、皆さんにとって、お互いの絆を深め、思い出深いものになったことだと思います。祭りで終わるのではなく、明日に向かいどうチャレンジするかが重要です。生徒諸君の可能性の豊かさを確信するとともに、今後の活躍をさらに期待し、閉会の挨拶とします。

――――――――――――――――――――――――――――――――

## 文化祭終えて

生徒会長 明日見 和佳

文化祭を終えて、みなさんは何を感じ、何を思いましたか？ 楽しかった、面白かった、感動した、悔しかった。きっと、文化祭後の学校はみんなの様々な感情であふれていたのだと思います。

しかし、大切なのはその次です。文化を通して得た学びを成長の材料として、次の自分に継げる事が本来の文化祭の目的であると思っています。

ですから私はみなさんにこう伝えます。文化祭お疲れ様でした。そして、共に、ここからまた頑張りましょう。

## 進路についての相談

一人一人の生徒にとって、義務教育終了後の進路実現に向か、「自分の進路をどうするのか」「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学する、または就職するというのではなく、これから長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…というようなことも視野に入れて考えてほしいと思います。

しかし、人生経験が十分でない中学三年生にとっては、それにも限界があります。そこで判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、教職員が加わって生徒・保護者の三者で相談を行います。

相談は、生徒自身やご家庭の意向をふまえ、客観的な資料(学業成績・日常の生活の様子など)に基づいて、現状で考えられる最もよい方向を共に考え、最終的に生徒自身の手でしっかりと決めてほしいと思います。

人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければならない場面があります。

そんな時に本人がどのように対処していくかが、長い人生を有意義に生きていけるかどうかの分かれ道になるように思います。私たちは、この人生最初の進路選択との出会いで、子どもたちが学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。

### [保護者の皆様へ]

子どもの進路は勝負ではありません。他の子どもと比較すべきものではありません。「何が何でも○○高校を」と進学のための進学になることの無いようお願いします。

子どもの性格・学力・特技・興味関心、将来の希望、さらには、社会や家庭の状況なども考えながら、子どもが納得できるように人生の先輩として助言をしてあげることが大切だと思います。

また、これをきっかけに子どもが、将来「生きていくための力」を獲得できるような機会としてほしいと思います。

### [生徒の皆さんへ]

進路に関して思い悩むことが多くなると思います。さらに、家人の人と意見が合わずに悩むことも出てくると思います。だからといって自分の進路決定から逃げてはいけません。

単に進学できるところに進学する。勉強や学校が嫌いだから就職するというのではなく、これから長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…このようなことを考え、家人の人や先生の話を参考にした上で自分自身の進路を自分で決定してください。

## 後期生徒会役員

先月行われた生徒会役員立会演説会では、それぞれが問題意識を持って、新たなことに挑戦しようとしている姿勢が感じられました。

生徒会役員に意思と勇気と目標をもって立候補してくれた皆さんに深い敬意を表します。

10／18の生徒総会前に生徒会役員認証式にて認証され、後期の活動が本格的に始まります。

本校の生徒会活動のまとめ役として、先生方と「協力」して、よりよい学校生活の創造を目指してもらえるよう願っています。

### 〈平成30年度 帯広第二中学校後期生徒会役員〉

生徒会 会長	木幡 桃華	(2の1)
生徒会 副会長	宮浦 るる	(2の3)
生徒会 副会長	佐藤 龍之介	(2の3)
生徒会 事務局員	大林 朋禾	(1の2)
生徒会 事務局員	菅原 拓人	(1の2)
生徒会 事務局員	村瀬 祥瑛	(1の1)

## 平成30年度全国学力学習状況調査 本校の結果

4月に実施された全国学習状況調査について本校の結果をお知らせいたします。

国語A(A:主として「知識」に関する問題)は、全国平均をやや下回りました。国語B(B:主として「活用」に関する問題)は、全国平均をやや下回りました。数学Aは、全国平均をやや下回りました。数学Bは、全国平均を下回りました。

理科(3年に一度実施)は、全国平均を下回りました。

3年生については、一人ひとりに個人票を配付いたしました。今後、分析と改善策についてホームページなどによりお知らせしていく予定です。